

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

あたらしゅうむか げんき す
新しい週を迎えました。元気で過ごしていますか。

がっこう いま むか ざか めん がけ たけ はやし ひろ
学校は、今、タケノコのシーズンを迎えています。みこころ坂に面した崖に、あれだけの竹の林が広がって

ますので、おもいもよらないところでのよきよきとタケノコが 顔をだして くるのも、ふしぎ 不思議ではありません。その

せいちょう はや ほんとう おどろ にち いじょう の み じっさい
成長の早さには、本当に驚かされます。一日10センチ以上は伸びているように見えますが、実際はどうな

のでしょう。そして、あるところまでくると、茶色い皮の中からつやつやした緑の竹が姿を現すのです。

ところで、いきおの 勢いよく伸びるタケノコを見る度に思い出すのが、子どもの頃に読んだ、良寛さまとタケノコのお

はなし みな よ
話です。皆さんもきっと読んだことがあるのではないのでしょうか。

りょうかん いえ ゆかした かお だ ゆかいた あたま とど み りょうかん いそ
良寛さまの家の床下でタケノコが顔を出しました。床板に頭が届きそうなものを見て、良寛さまは急いで

ゆかいた おも ぞんぶんの うれ なが
床板をはがしてあげました。「これでよい。思う存分伸びなされ。」と嬉しそうに眺めていると、タケノコはぐん

ぐん伸びて、10日程も経つと、今度は屋根に届いてしまいました。「かわいそうに」と思った良寛さまは、

やね あな の
屋根に穴をあけ、そこから伸びていけるようにしてあげました。

ゆか てんじょう あな ちい いえ みまも りょうかん え いま め
床と天井に穴のあいた小さな家で、にこにこしながらタケノコを見守っている良寛さまの絵が、今でも目に

や つ
焼き付いています。

おばやしせいしん み ようす みな せいちょう すかた かさ ねんせい ねんせい まいにち
小林聖心で見るタケノコの様子は、皆さんの成長の姿と重なります。1年生から12年生まで、毎日ぐんぐ

の みな ちい おも きょうで あ ねえ
ん伸びていく皆さん。まだまだ小さいと思っていたのに、今日出会ったら、お姉さんみたいになっていたとか、

ひどまえ は いま どうどう つと まいにち みな せいちょう み
ちょっと人前で恥ずかしそうだったのに、今は堂々とリーダーを務めているとか、毎日、皆さんの成長を見せ

ていただくのは嬉しいことです。

いま がまん まいにち みな ふし つく とき
今しばらくは、ただ我慢することしかできない毎日ですが、これはきっと皆さんが、「節」を作る時なのではな

いでしょうか。竹の中は空洞ですが、間に「節」がいくつも

はい かげ たけ ほそ きょうふう たお
入っています。そのお陰で竹は細くても、どんな強風にも倒

れることはありません。硬くてしっかりとした「節」を作れます

ように。そして、ぐんぐん伸びていけますように。神様は、「床

やね つ ぬ おお
も屋根も突き抜けて大きくなりなさい」とおっしゃっていると

おも
思います。



おばやしせいしん
<小林聖心のタケノコ>